

林業普及週間現地情報 (9/2～9/6)

森林管理課

令和元年度 林業研究グループ九州地区研修大会（大分県開催） の「東風平木工芸組合（楽樹）」古我知氏の発表について

9月5日

令和元年9月5日、大分県において、第59回林業研究グループ九州地区交換研修大会（九州各県から各1題・団体の発表）が開催されました。

今回は、沖縄県林研グループが既存12団体あるが、新たに県推薦として八重瀬町在「東風平木工芸組合」の古我知毅氏が活動実績を発表した。

1. グループ結成の経緯

同組合は、平成元年頃から旧東風平町で活動していた木工作家5名が集まり、県産材の有効活用と、木工製品に伝統工芸の技術を加味した地域特性の製品を製作することを通し、地域の活性化（旧東風平町）を図ることを目的に、東風平木工芸組合「木の工房楽樹（らっきー）」として、平成8年8月に結成したグループ組織です。

また、木工芸品製作の他にも大工経験者や、溶接の技能者が組合に所属しているため、県産材に特化した那覇市内教会や幼稚園書架などの内装工事の実績もあります。組合では「良質な県産木製品の作り手側から、子ども達が木や森を身近に感じ、木材に対する親しみを学ぶ活動を実践する」を実現するために木育活動を多数開催しております。

同組合の資産について、林野庁の地域特産物生産促進型事業により、加工場・展示場の建物約342㎡（約100坪）及び工作機械（自動鉋、手押鉋、横切盤、帯鋸）さらに木工旋盤、角鑿、昇降盤を追加配備）を備品として管理し、グループで共同利用しています。

【組合員情報】

- 1) 代表者 : 岩田望美（代表職は持ち回り）
- 2) 組合員数 : 5名（男性4名、女性1名）
- 3) 組合員年齢 : 45歳～66歳（平均約60歳）

2. グループの主な活動内容

(1) ゴールデンウィーク木育体験

- a 目的 : 小中学生の木育、工作体験の補助
- b 回数 : 5月の連休期間のうち3日～4日間
- c 対象者 : 中部地区、南部地区の子ども会など

- (2) 夏休みワークショップ（自由研究）
 - a 目的：夏休みの宿題の工作の補助
 - b 回数：夏休み期間中に数回
 - c 対象者：県内一円で小中学校生徒など
 - d 作品例：椅子、時計など
- (3) 年末感謝祭としてクリスマス木育講座
 - a 目的：クリスマス飾りの製作の補助
 - b 回数：クリスマス前の年末期に1日
 - c 対象者：南部地域の子ども会、町内保育園児
- (4) かりゆし長寿大学の講師
 - a 目的：高齢者の生涯学習・健康の維持増進の支援
 - b 回数：毎年1回で時期は未定
 - c 対象者：かりゆし長寿大学の加入者60歳以上の高齢者
 - d 修学：1年間（週1回4時間）、科目別64名×3クラス
- (5) 出前木育講座の講師（公的機関の要請に応じて）
 - a 目的：地域の子ども達の情操教育の支援
 - b 回数：年間15回程度、時期は未定
 - c 対象者：町内公民会主催において、町内保育園児や小中学校生徒を対象

【受賞歴】

- 4) 第24回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）において準グランプリ受賞
- 5) 第2回ウッディービエンナーレ in 沖縄コンペティションにおいてアイデア賞受賞
- 6) 平成29年度「沖縄県農林漁業賞（林業部門）」受賞

3. 今後の課題と将来のビジョン

同組合が活動拠点とする八重瀬町は、日頃の木工製作に使う県産木材の原料となる森林が乏しいことから、本島北部地域の森林資源を活用しており、木材原料を確保できるかという課題があります。特に、本県の森林地域の要となる本島北部地域は平成28年に国立公園に指定され、世界自然遺産の登録を目指しています。貴重な生態系を守り、古（いにしえ）から人々の暮らしと共にあった森であり続けるために「守る」と「活かす」の両立を図っていく必要があると考えております。

沖縄の木々の魅力は、なんといっても亜熱帯気候の森林を有していることです。そこに生育する樹木は多種多様であり、材としての性質、木目、色合い、香り等、個々の樹木の魅力があります。そこで私たちができる取り組みとしては、それら沖縄県産材の個々の良さを引き出し、製品化することはもとより、木育活動を通じて、その魅力を多くの県民に発信していくことが普及に求められています。

「ユッカぬ日イベント」に組合みんなで参加したことを契機に、「県産木の良さを伝え、また、木を使う人（心）も育てたい」と思い、講師や木育活動は、組合として進んで取り組むようになりました。講師や木育イベントの依頼も年々増えており、組合員の一人一人が協力し合って今後も継続して幅広い世代の人々を対象に、活動するとともに、同組合の発展にも繋がって欲しいところです。

今大会のは最優秀賞は宮崎県・日之影町林業研究グループでしたが、古我知氏らが沖縄独自の「森(林業)を活かし、次世代に価値ある資源を受け継いでいく」の思いを込めて、今後とも県産木の魅力を発信（ラッキー活動）の取り組みを県としても支援していきたい所です。

追伸；この現地情報は、パワーポイント作成応援・指導や発表者補助を行っていただきますので発表内容の一部を引用してあります。



「楽樹」のオリジナルTシャツ